

八戸工業高等専門学校	開講年度	令和03年度(2021年度)	授業科目	エネルギー変換工学B(2118)
------------	------	----------------	------	------------------

### 科目基礎情報

科目番号	3E36	科目区分	専門 / 必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	産業システム工学科電気情報工学コース	対象学年	3
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	電気機器 実教出版		
担当教員	角館 俊行		

### 到達目標

変圧器の原理、構造、特性を説明でき、変圧器の等価回路を説明することができる。

回転機（誘導機、同期機）の原理、構造、特性を説明することができる。

### ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
変圧器	変圧器の原理、構造、特性を説明でき、応用レベルの問題を解くことができる。	変圧器の原理、構造、特性を説明でき、公式をあてはめる基礎的問題を解くことができる。	変圧器の原理、構造、特性を説明でき、公式をあてはめる基礎的問題を解くことができない。
誘導機	誘導機の原理、構造、特性を説明でき、応用レベルの問題を解くことができる。	誘導機の原理、構造、特性を説明でき、公式をあてはめる基礎的問題を解くことができる。	誘導機の原理、構造、特性を説明でき、公式をあてはめる基礎的問題を解くことができない。
同期機	同期機の原理、構造、特性を説明でき、応用レベルの問題を解くことができる。	同期機の原理、構造、特性を説明でき、公式をあてはめる基礎的問題を解くことができる。	同期機の原理、構造、説明特性をでき、公式をあてはめる基礎的問題を解くことができない。

### 学科の到達目標項目との関係

ディプロマポリシー DP3◎

### 教育方法等

概要	【開講学期】秋学期週4時間 電気情報工学コースの教育目標の一つは、電気工学の専門基礎に関する知識を身に付けることである。本科目では、様々なエネルギーを電気エネルギーに変換する方法とその電気エネルギーを適切に利用する方法について説明できることを目標とする。
授業の進め方・方法	夏学期のエネルギー変換工学Aを復習しながら、変圧器と回転機（誘導機、同期機）について学習する。 変圧器の三相結線は重要であるため、三相交流の原理と併せて授業を進める。 到達度試験70%、小テスト・演習など30%として評価を行い、総合評価は100点満点として、60点以上を合格とする。 答案は採点後返却し、達成度を伝達する。 補充試験の場合は、試験の点数のみで合格となる。
注意点	講義内容を理解するために、予習・復習をしっかりと行うこと。 与えられた問題を解くだけでなく、自主的にさまざまな問題に取り組むこと。 関数電卓を持参すること。

### 授業の属性・履修上の区分

<input type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input type="checkbox"/> ICT 利用	<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業
-------------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	---

### 授業計画

	週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	1週	変圧器の原理、構造	変圧器の原理、構造を説明できる。
	2週	変圧器の特性	変圧器の特性を説明できる。
	3週	変圧器の等価回路①	変圧器の等価回路を説明できる。
	4週	変圧器の等価回路②	変圧器の等価回路について計算できる。
	5週	変圧器の三相結線①	三相結線における電圧・電流（相電圧、線間電圧、線電流）を説明できる。
	6週	変圧器の三相結線②	三相結線における電圧・電流（相電圧、線間電圧、線電流）について計算できる。
	7週	中間到達度試験	
	8週	三相誘導電動機の原理、構造	三相誘導電動機の原理、構造を説明できる。
4thQ	9週	三相誘導機の特性	三相誘導電動機の特性を説明できる。
	10週	各種誘導機の特性	各種誘導機の特性を説明できる。
	11週	三相同期発電機の原理、構造	三相同期発電機の原理、構造を説明できる。
	12週	三相同期発電機の特性	三相同期発電機の特性の説明できる。
	13週	三相同期電動機の原理、構造	三相同期電動機の原理、構造を説明できる。
	14週	三相同期電動機の特性	三相同期電動機の特性の説明できる。
	15週	到達度試験	
	16週	答案返却とまとめ	

### モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	電気・電子系分野	三相交流における電圧・電流(相電圧、線間電圧、線電流)を説明できる。	4	
			誘導機の原理と構造を説明できる。	4	
			同期機の原理と構造を説明できる。	4	
			変圧器の原理、構造、特性を説明でき、その等価回路を説明できる。	4	

### 評価割合

	試験	小テスト・演習など	合計
総合評価割合	70	30	100
基礎的能力	0	0	0
専門的能力	70	30	100
分野横断的能力	0	0	0